

SAURS

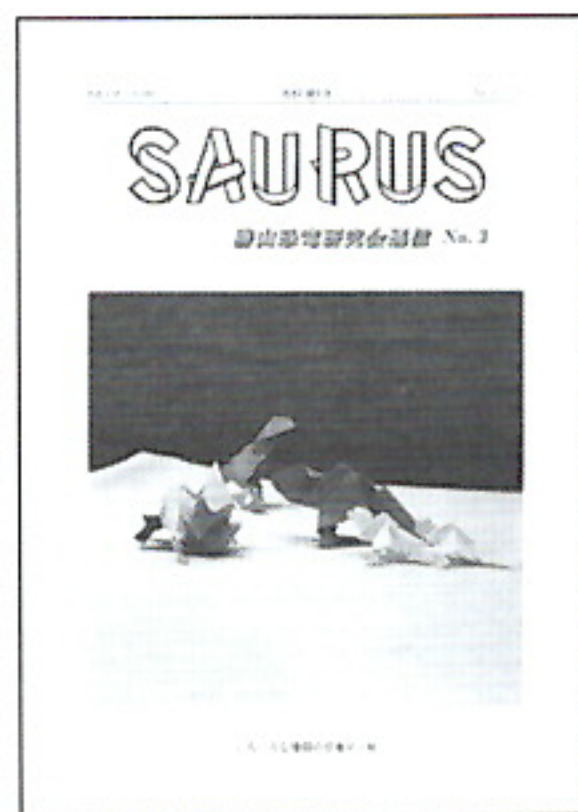
バックナンバー



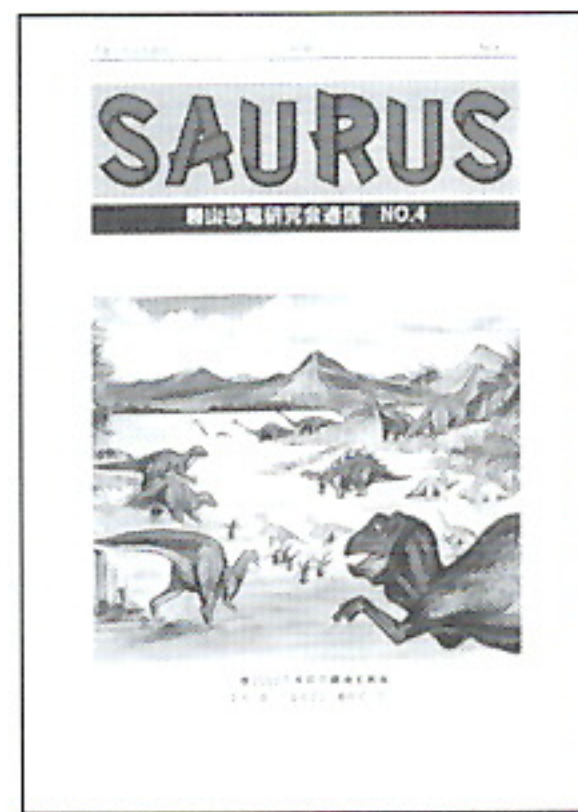
No.1



No.2



No.3



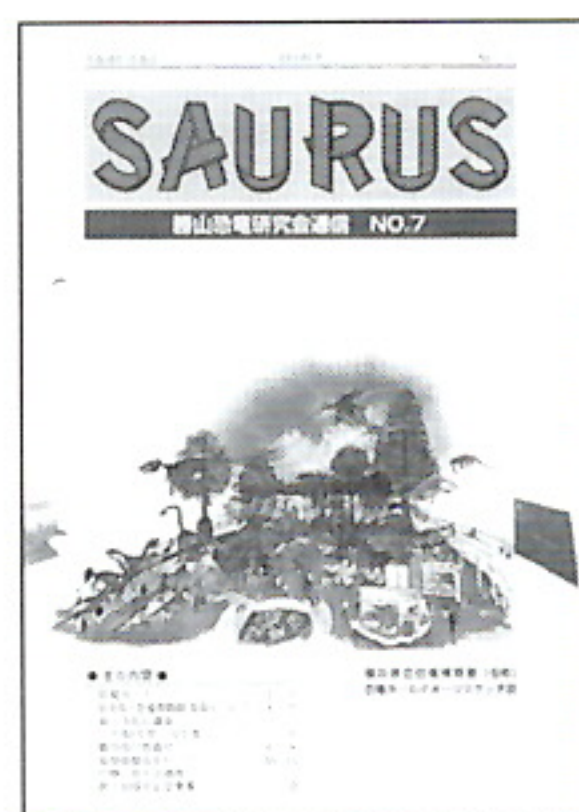
No.4



No.5



No.6



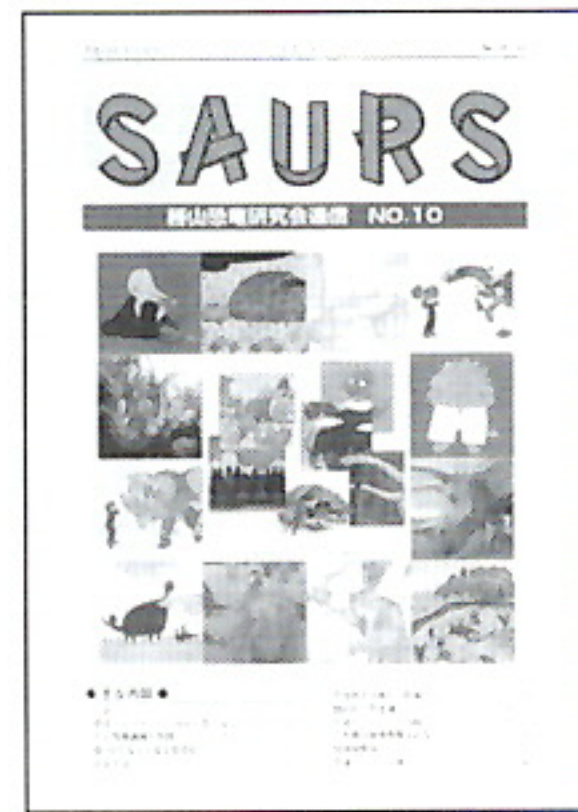
No.7



No.8



No.9



No.10



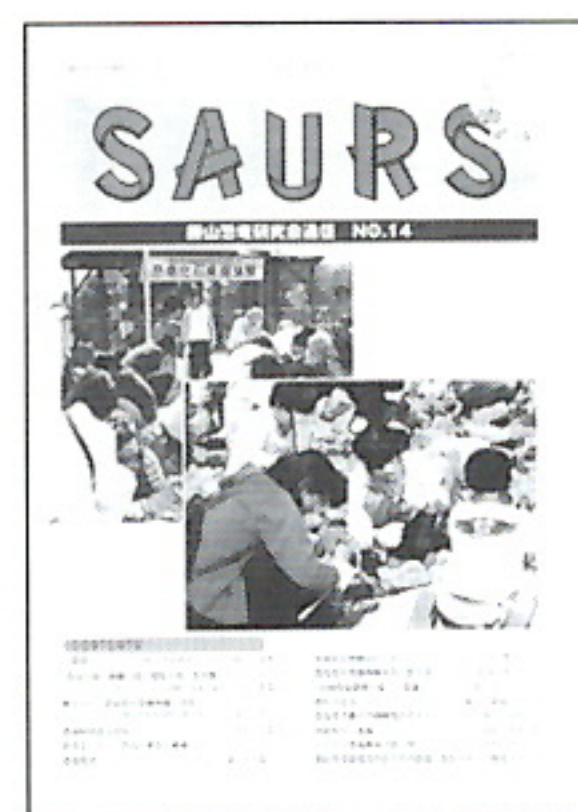
No.11



No.12



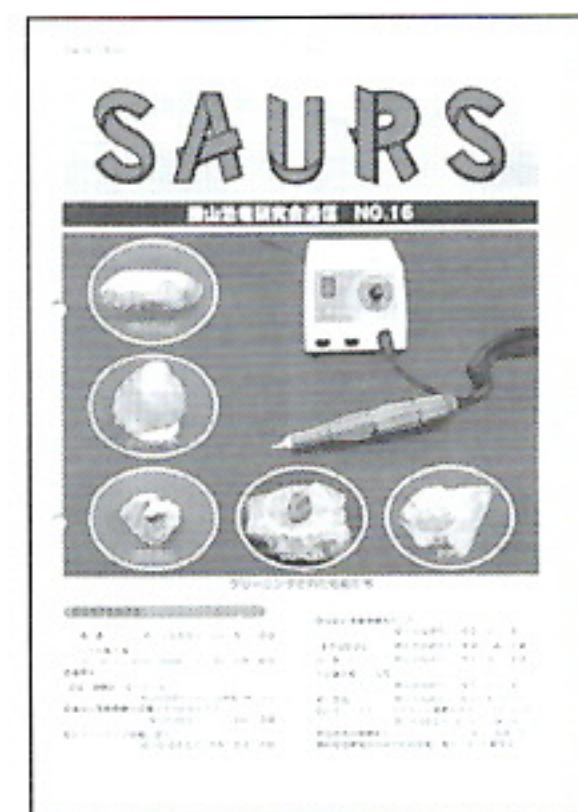
No.13



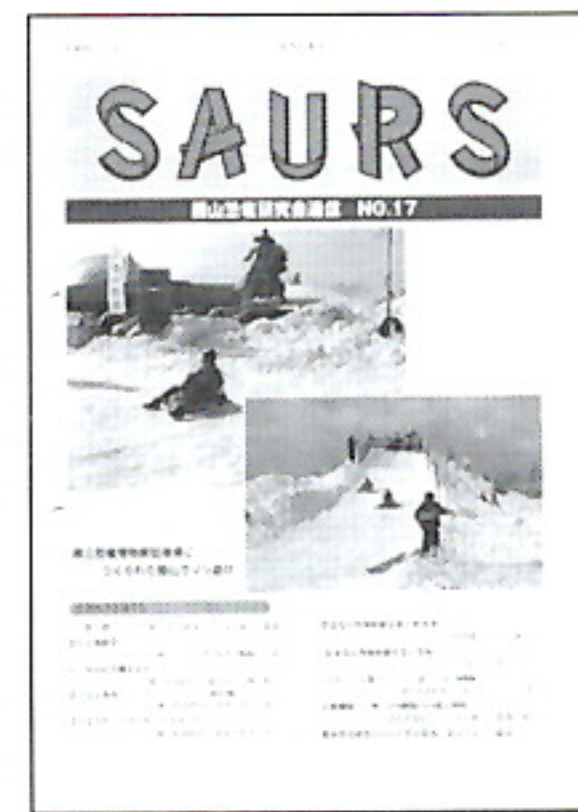
No.14



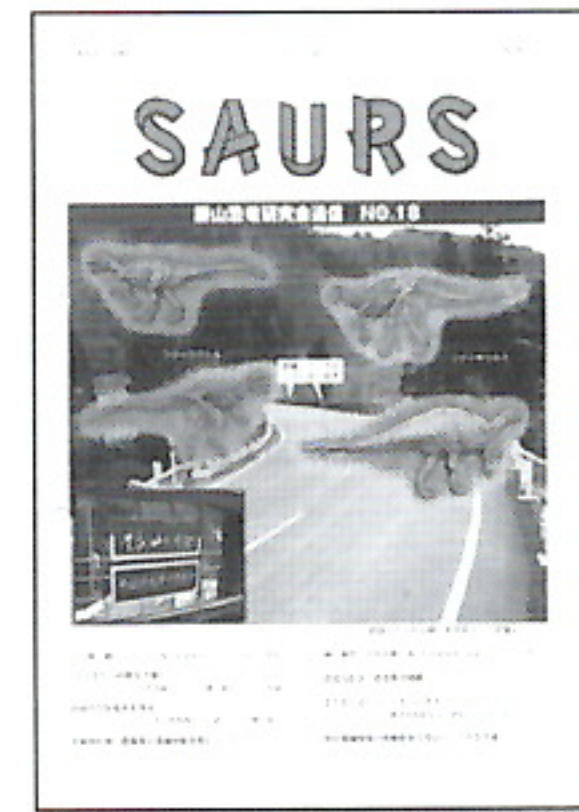
No.15



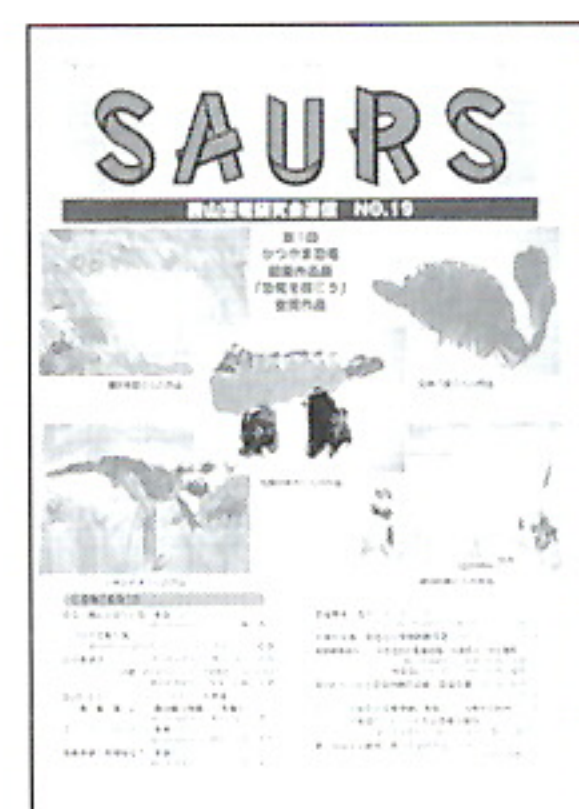
No.16



No.17



No.18



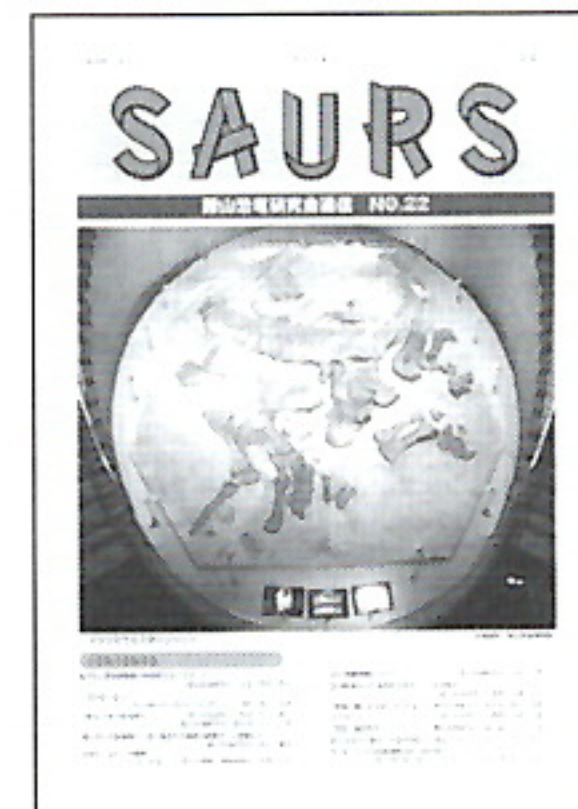
No.19



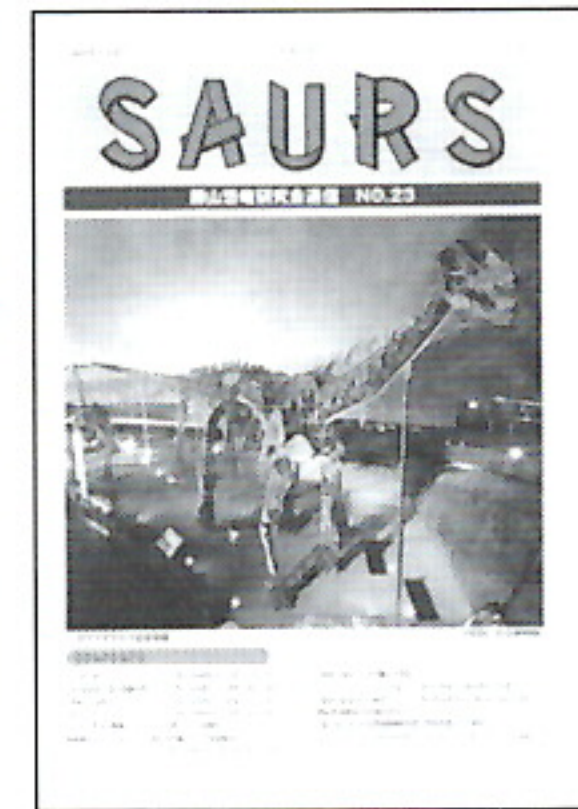
No.20



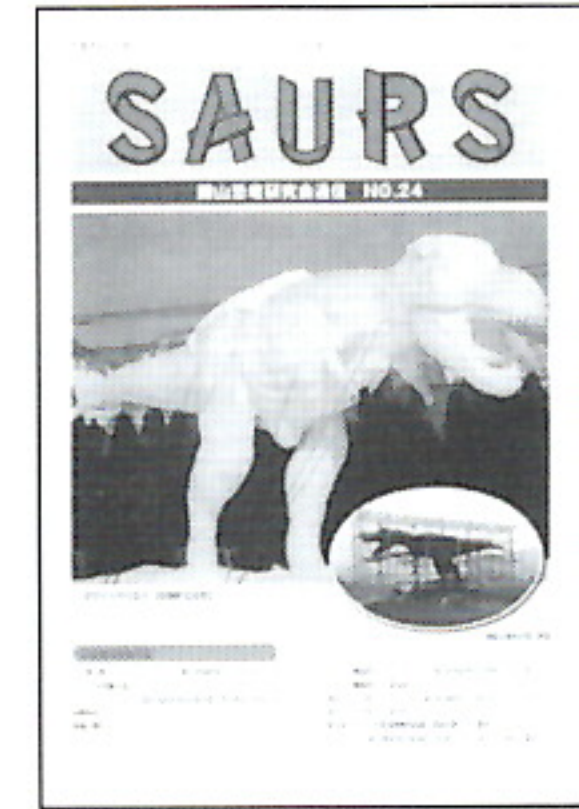
No.21



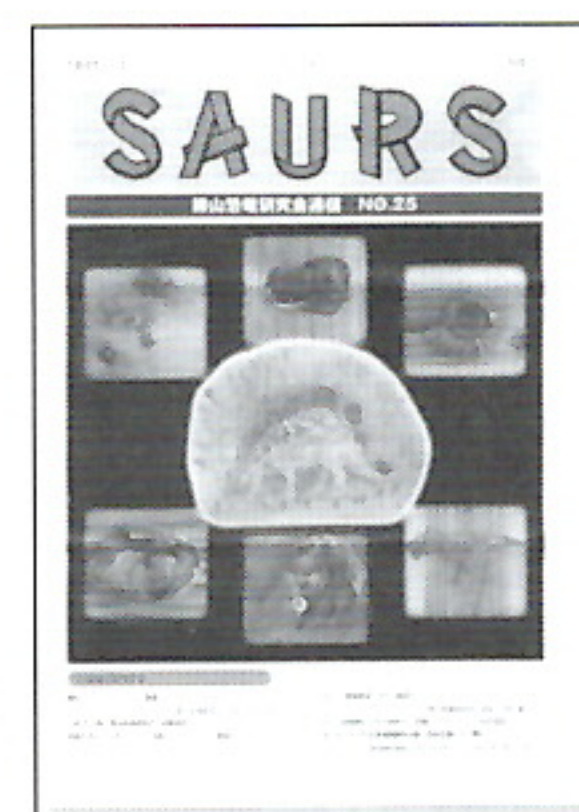
No.22



No.23



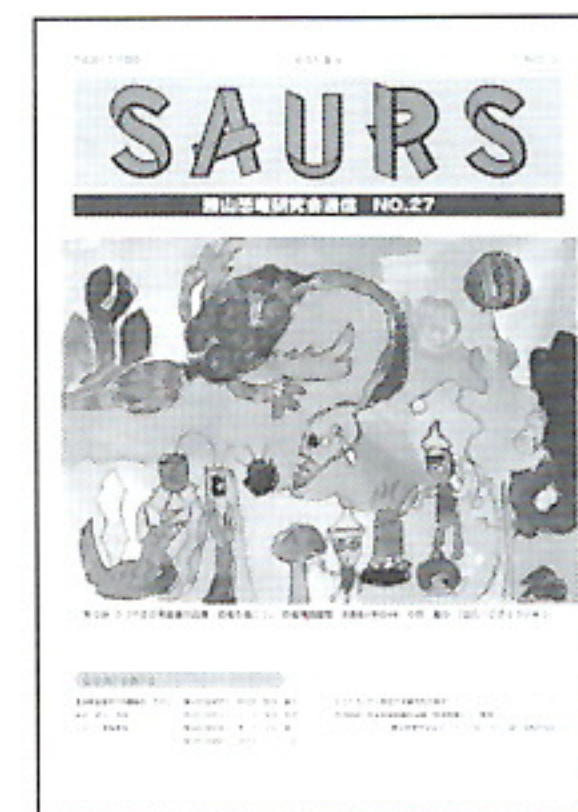
No.24



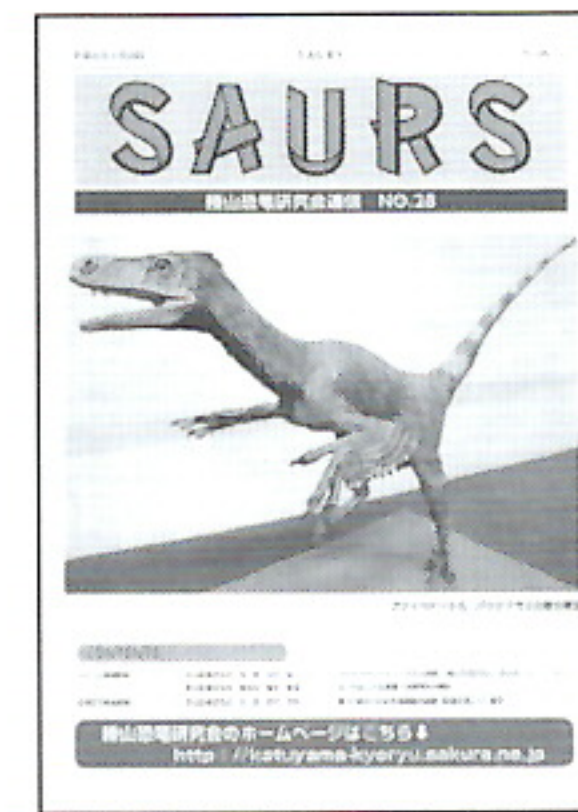
No.25



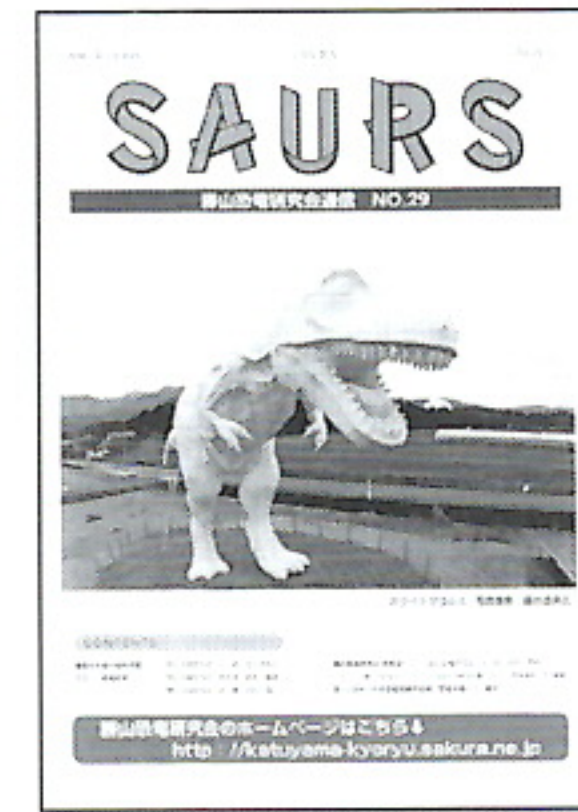
No.26



No.27



No.28

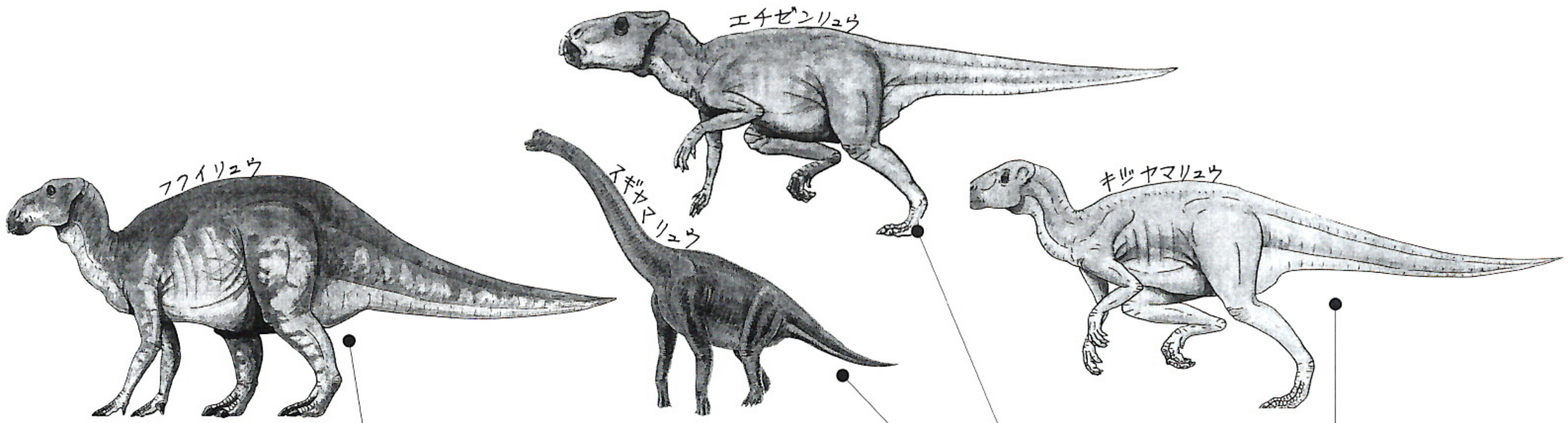


No.29

SAURSバックナンバーの内容はホームページでご覧いただけます。

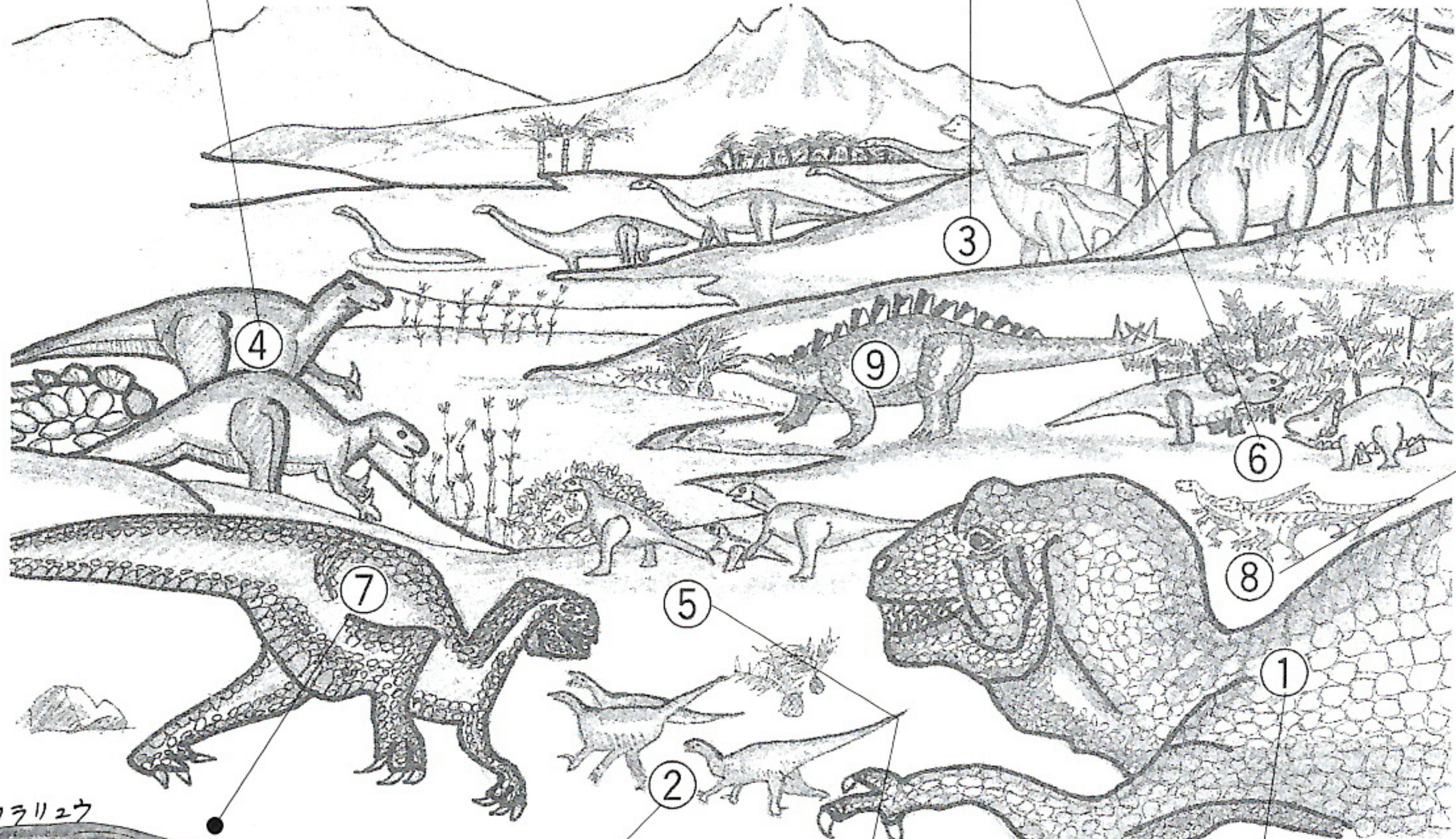
<http://katuyama-kyoryu.sakura.ne.jp>

学名がつけられる前の恐竜たち！

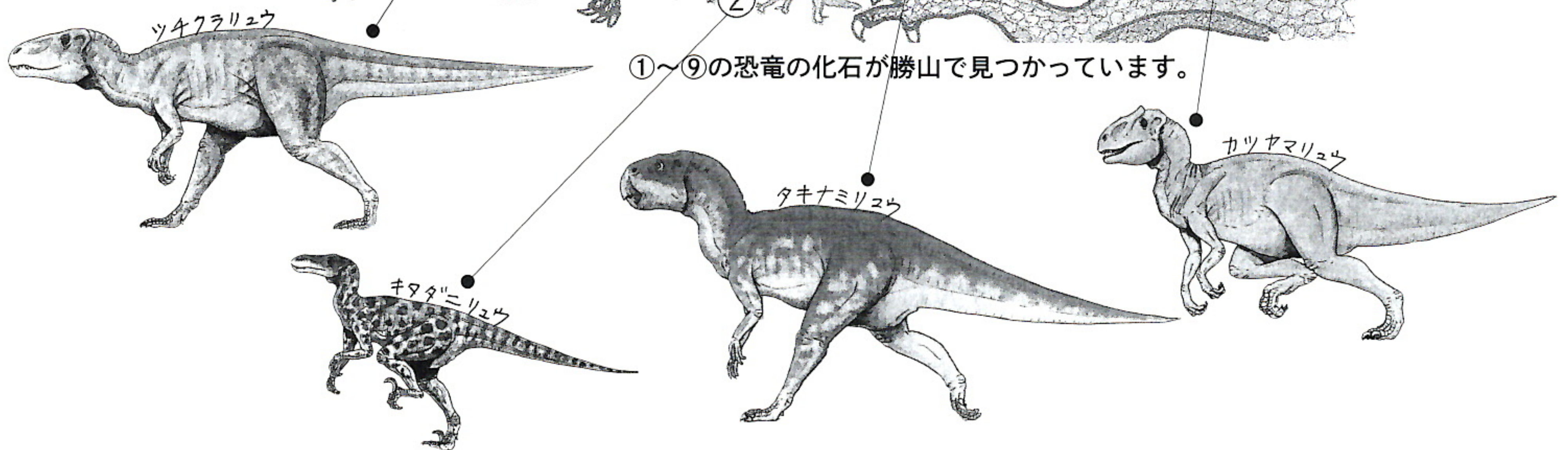


勝山で発見された恐竜たち

原画 細野孝一氏




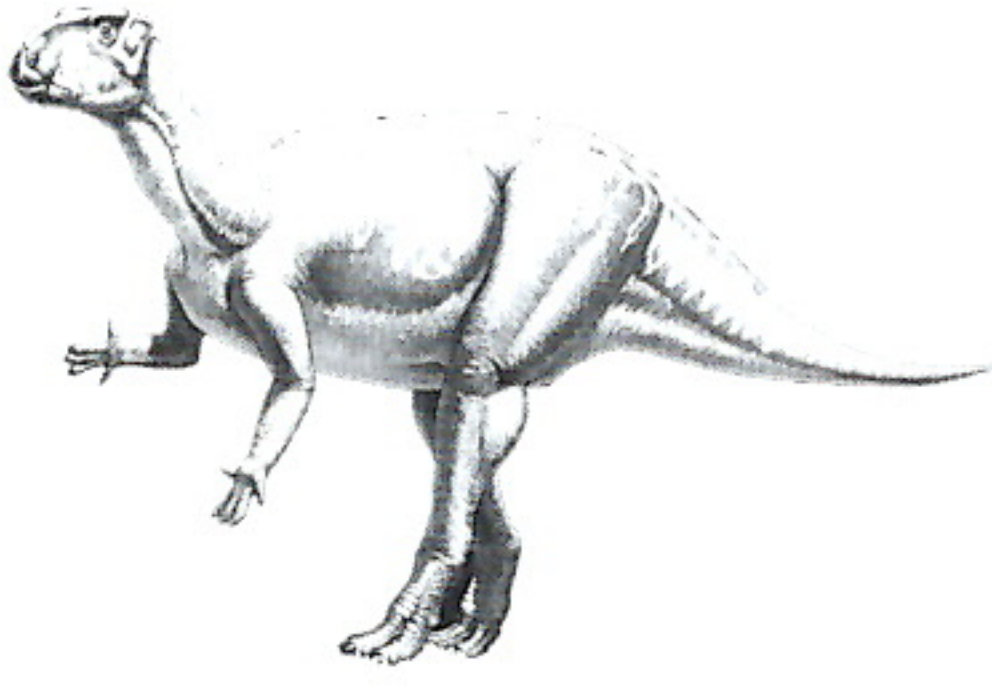
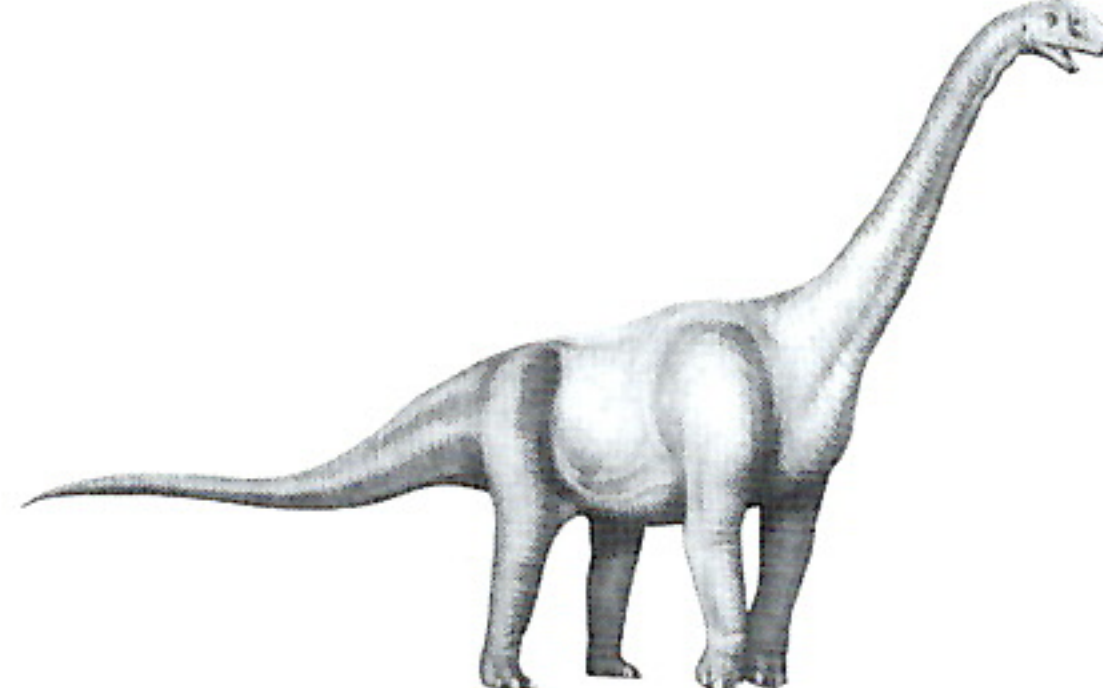
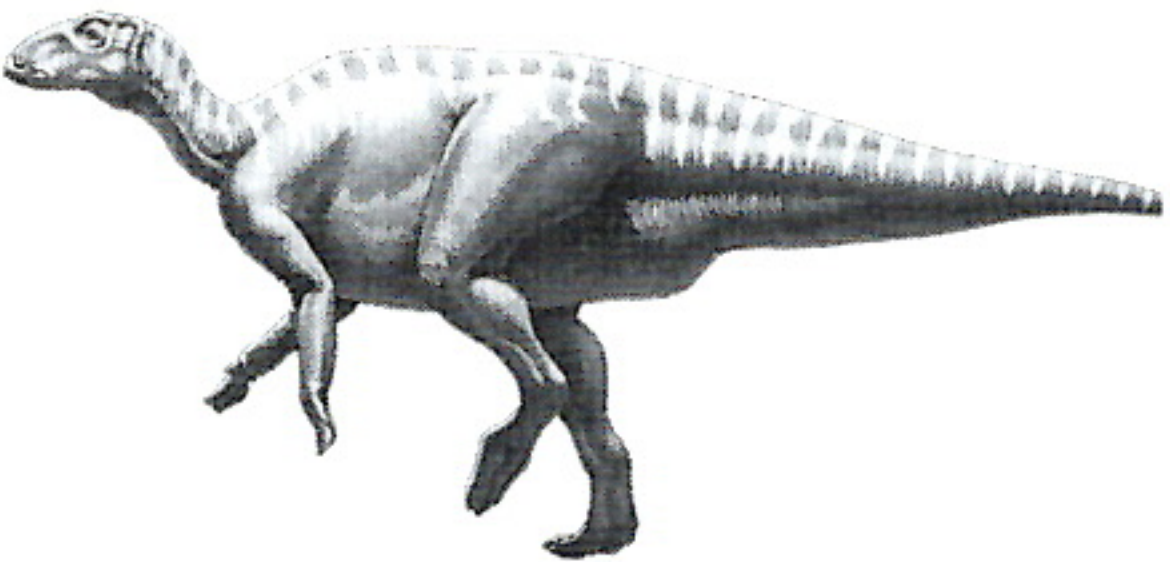
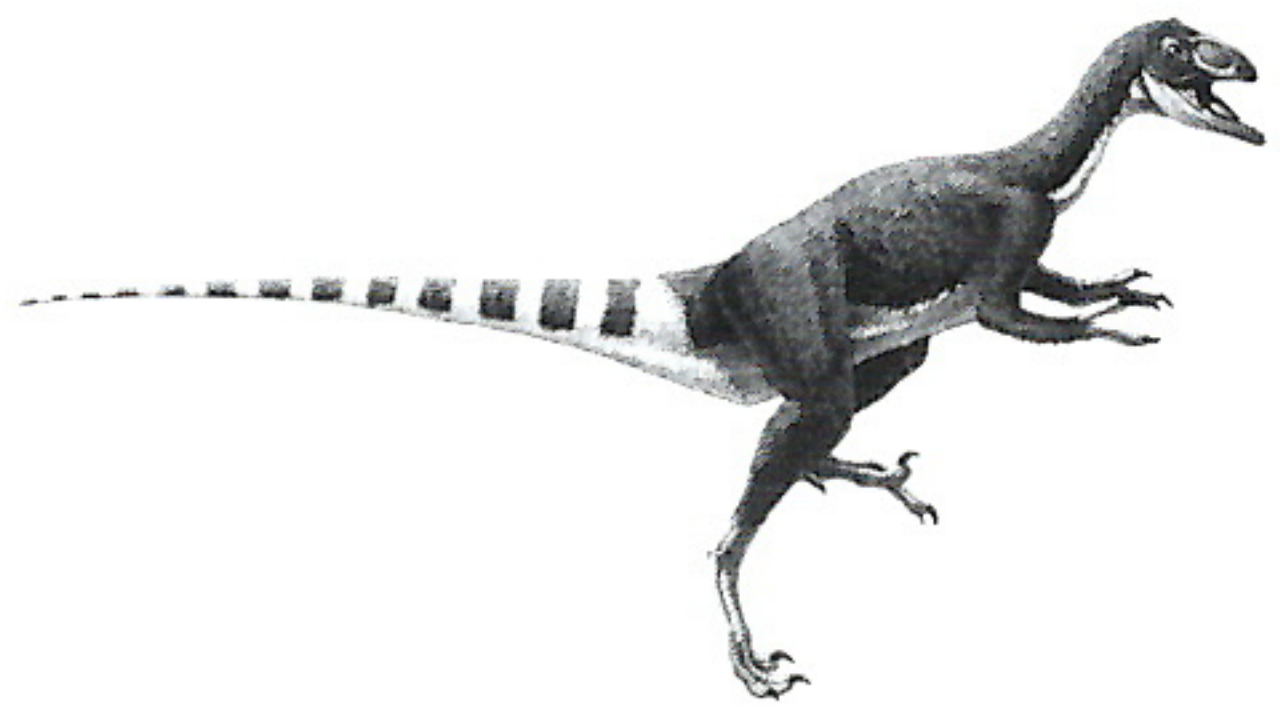

①～⑨の恐竜の化石が勝山で見つかっています。



上の画は、「サウルス」4号に掲載された、当時の勝山恐竜研究会副会長の細野孝一氏が、1億2000万年前の勝山を想像して描いたものです。当時はまだ、正式な学名がついた恐竜はいませんでした。県の第1次発掘でたくさんの恐竜化石が発見されましたが、分類の途中でしたので、9種類の恐竜がいたのではないかと考えられていました。その後、研究が進められてついに、2000年日本で最初の全身骨格が復元された〈フクイラプトル・キタダニエンシス〉の論文が発表されることとなります。

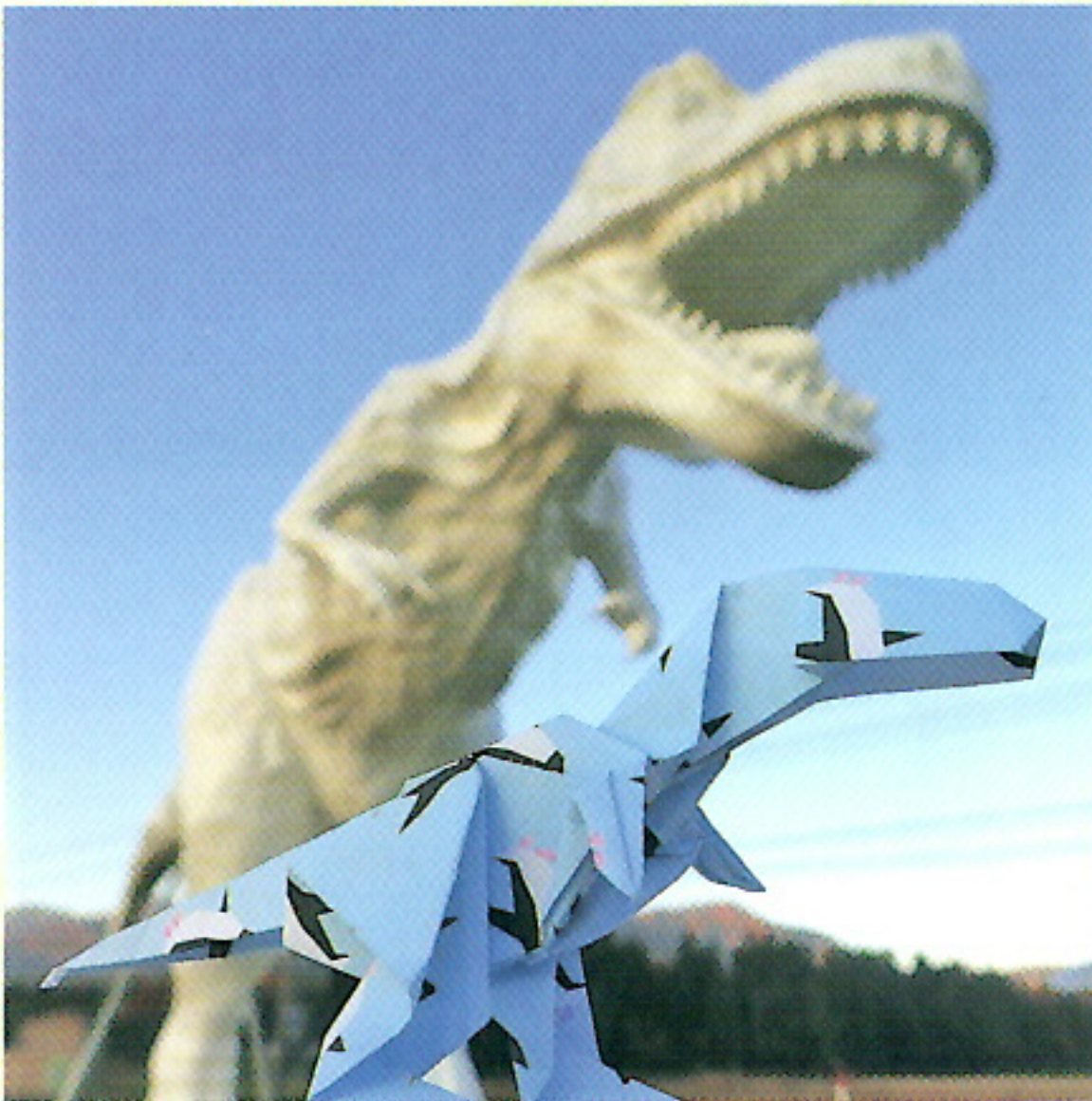
勝山で発見された恐竜の名前、全部言えますか？

(フクイプテリクス・プアマは鳥類に属します。)

〈フクイラプトル・キタダニエンシス〉	〈フクイサウルス・テトリエンシス〉	
 <p>【特徴】 肉食。体長4.2m。獣脚類アロサウルス上科 2000年に日本で初めて正式な学名がつけられた。 長さ10cmのカギ爪をもち、当初後脚のものと誤認されてドロマエオサウルス科の小型恐竜と考えられた。のちに前脚のものとわかり、歯や大腿骨の特徴などからアロサウルス上科に属する新種と修正された。国産肉食恐竜としてはじめて全身骨格が復元された。</p>	 <p>【特徴】 植物食。体長4.7m。鳥盤類イグアノドン類 2003年に比較的保存のいい頭骨をもとに新種として学名がつけられた。特に上顎骨の構造が独特であり、口先はクチバシ状になっている。前肢の親指がスパイク状になっている。</p>	
〈フクイティタン・ニッポネンシス〉	〈コシサウルス・カツヤマ〉	
 <p>【特徴】 植物食。体長約10m。竜脚類ティタノサウルス形類 2007年、歯や上腕骨、大腿骨など20点が発見され、2010年に竜脚類として国内初めて学名がつけられた。 中手骨が橈骨の48%と長く、座骨の先端が広がっている。 歯の形がブラキオサウルスと似ているが、幅は狭く他の近縁種よりは広がっている。 体重10トン未満とあまり大きくない種類</p>	 <p>【特徴】 植物食。体長約3m。鳥盤類イグアノドン類 2008年に5点の骨化石が発見され、2011年にフクイサウルスとは別種のイグアノドン類とされてきたが、2015年に新種新属として学名が認められた。フクイサウルスとは上顎骨の歯の舌側が角ばっていることや前眼窩窓があること、左の上顎骨との関節部の溝が浅いことなど、フクイサウルスよりやや進化的新種の幼体と考えられている。コシサウルスの発見により、国内では唯一、1か所で2種のイグアノドン類が確認されることになった。</p>	
〈フクイベナートル・パラドクサス〉	他の恐竜化石など	鳥類 (フクイプテリクス・プリマ)
 <p>【特徴】 雑食性。体長2.5m。獣脚類マニラプトル形類 2007年、頭骨を含む全体の70%にあたる骨が見つかる。 歯が円錐形で鋸歯がないなどの特徴から雑食性の可能性がある。 頭部の脳函をCTスキャンで解析し内耳の形を3Dモデルで復元したところ、平衡感覚と聴力が優れており、獣脚類と現生鳥類の中間的な形をしていることがわかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オルニトミモサウルス類の3点の末節骨 (1998年1点、2008年2点) ・スピノサウルス科の歯18点 (1991～2019年に断続的に見つけていたが、2020年にスピノサウルス科と判明) ・ヨロイ竜類の歯2点 (2017年発見) 	 <p>2013年に発見され、2015年に新種新属として学名がつけられた他の化石鳥類にみられない上腕骨近位端の凹みや特徴的な尾端骨などがあり、新種新属と認められた。 鳥類としては極めて原始的な形態がみられ、1歳未満の若い個体だと判明している。50cm×50cmの表面で100個以上の骨が見つかり、全身の5割以上の骨が立体的に保存されていた。</p>

恐竜モニュメントの名前と設置場所当てクイズ!!

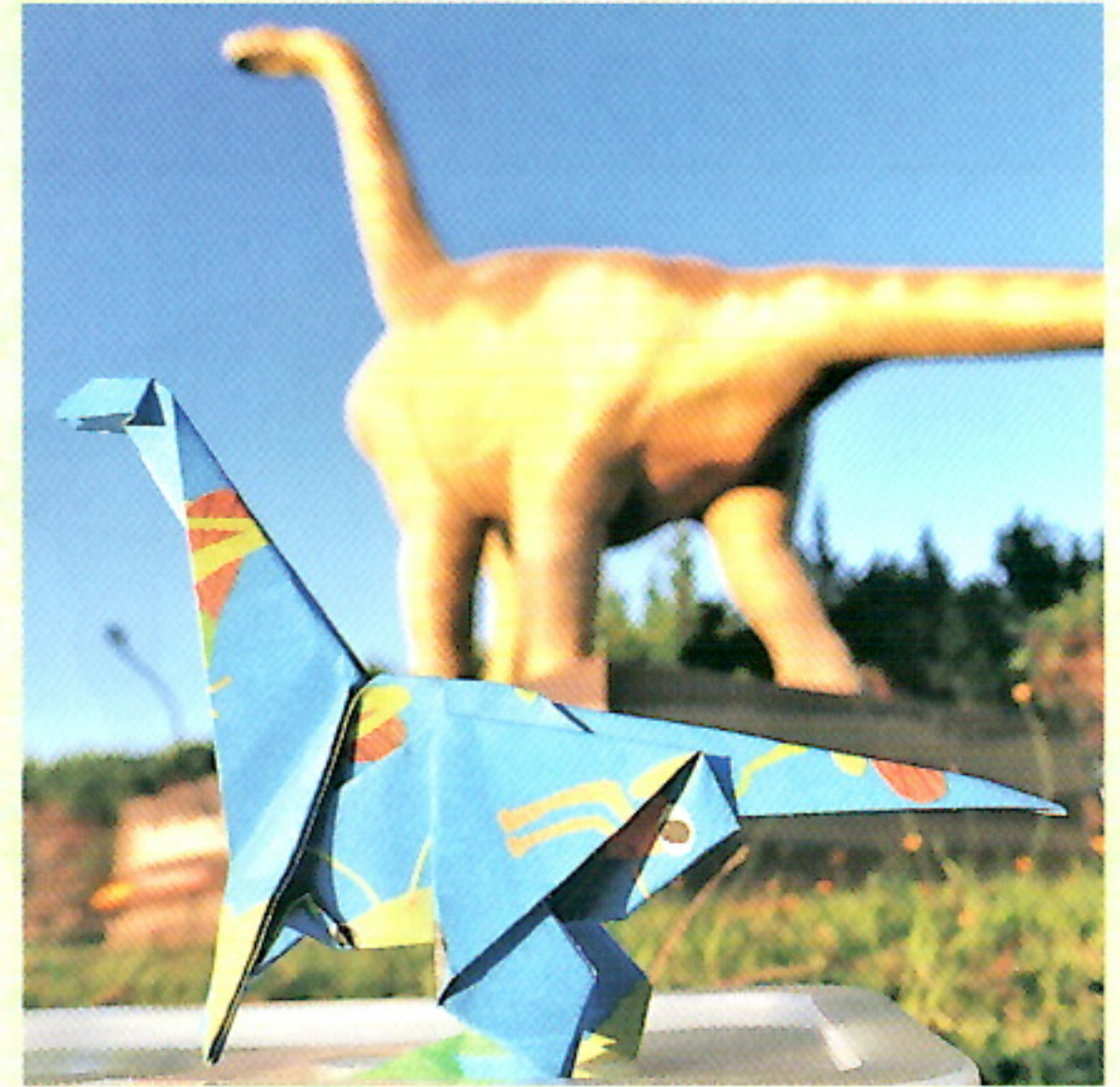
全問正解者の方には、勝山恐竜研究会より素敵な恐竜グッズをプレゼントします。



③ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?



④ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?



⑤ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?

⑥ 設置場所 _____ ?



⑦ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?

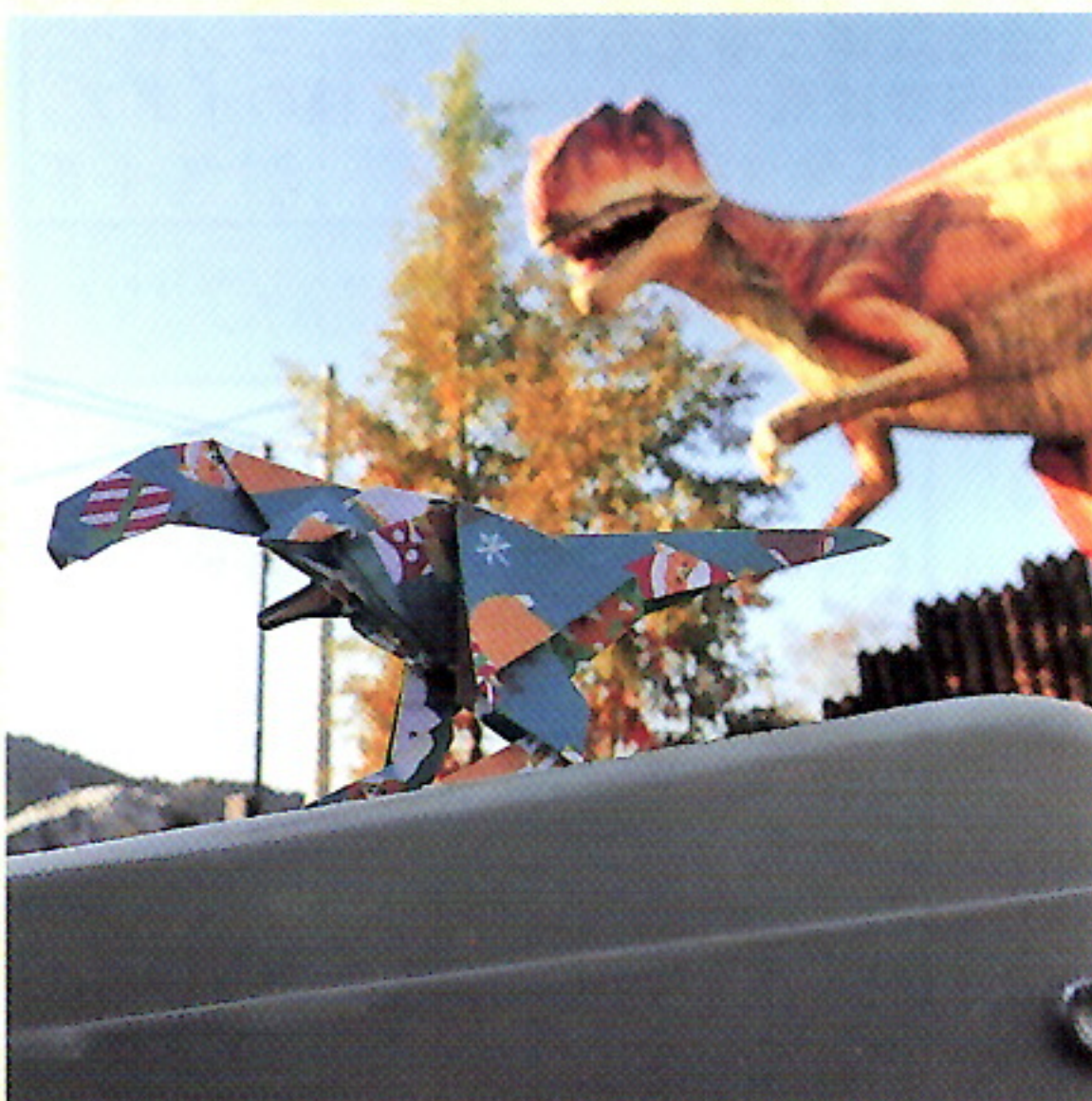
⑧ 設置場所 _____ ?



⑨ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?



⑩ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?



⑪ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?

⑫ 設置場所 _____ ?



⑬ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?



⑭ 恐竜モニュメントの名前 _____ ?

⑮ 設置場所 _____ ?

応募の宛先: 〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市市民交流センター内 勝山恐竜研究会

応募の仕方: 官製ハガキに①～⑮の答えを書いて送って下さい。締め切りは令和3年4月30日です。差出人の住所・氏名・年齢を忘れずに書いて下さい。発送をもって発表に代えさせていただきます。正解は勝山恐竜研究会のホームページ上のブログでご覧いただけます。

勝山恐竜研究会のホームページ <http://katuyama-kyoryu.sakura.ne.jp>